

**写真撮影・作品づくりのテクニックをプロから学ぶ
高校生ワークショップ「フォトスタジアム」**

協力: キヤノンマーケティングジャパン株式会社

「PHOTO STADIUM」は写真公募企画展「倉敷フォトミユラル」の関連企画として開催する、高校生を対象とした写真のワークショップです。写真に対する理解を深め、作品作りの経験を積む機会を高校生に提供することを目的に、岡山県立大学デザイン学部 SAKURA Project が企画・運営をしています。2日間の日程で、組写真作品と「倉敷フォトミユラル」に応募する単写真作品をプロの指導の下、制作します。講義やグループワークを通して、一眼レフカメラの基本的な使い方から作品の作り方まで身につける内容となっています。

※組写真作品とは、複数の単写真から成る、あるテーマを持った作品のことです。

《Aコース》2019年8月15日(木)、16日(金)

《Bコース》2019年8月17日(土)、18日(日)

※A・Bコースとも内容は同じ、各日9:50~16:30

申込締切

2019年6月28日(金)必着

※応募方法については別紙をご覧ください

会場: 倉敷市芸文館

参加費: 500円(傷害保険代他)

※交通費、宿泊費は自己負担となります

定員: A・Bコースともに各30名程度

条件: 高等学校・高等専門学校に在籍している生徒

※担当教員の引率は自由です

★昨年度参加者アンケートより

・自分の写真や作品について複数人から意見を聞くことができ、新鮮だったし参考になった。 ・他校の写真部の人と交流ができて良かった。

★審査員・講師紹介



飯沢 耕太郎
展示審査

写真評論家。「写真新世紀」を始め、多くの写真コンテストで審査員を歴任。現在最も影響力の強い写真評論家といわれる。



山崎 信
講師

写真ディレクター。株式会社フォトクラシック代表取締役。日本大学芸術学部写真学科非常勤講師。



川名 廣義
講師

元キヤノンEOS学園講師。写真家。全国の高校生がしのぎを削る写真甲子園の審査員も務めた。



北山 由紀雄
講師

岡山県立大学デザイン学部准教授。県展の審査員も務める。2004年からは写真公募企画展「倉敷フォトミユラル」を主宰。

★ワークショップのながれ

レクチャー



プロカメラマンから、カメラの使い方や撮影のテクニックを学びます。カメラを前に、早く撮影してみたいという気持ちが抑えられない人も…

撮影



1日目の午後に、倉敷美観地区で撮影をします。限られた時間でいかに多くの写真を撮るかが勝負の分かれ目です。目標は2時間で200枚以上!

セレクション



撮影した写真を眺めながら写真を選びます。講師のアドバイスや同じグループの人の意見を参考に、写真作品を制作します。

講評



1人ずつ講師から組写真作品の講評をしてもらいます。プロの意見を直接聞くことのできる貴重な機会です。

講義



2日目の最後に特別講義を行います。古い写真を鑑賞しながら写真の歴史について学びます。

👑 グランプリ展示について



昨年のグランプリ展示の様子 ※今年度とは展示の様子が異なります

後日、「倉敷フォトミユラル」ディレクターである写真評論家の飯沢耕太郎氏より、本ワークショップで制作した組写真作品の中からグランプリ(1作品)と佳作(4作品)を選出します。グランプリ受賞者の作品は、天満屋倉敷店にて展示されます。

過去に本ワークショップに参加した高校生も作品に応募することができます。

展示期間: 2019年11月2日(土)~11月11日(月)

会場: 天満屋倉敷店 2F

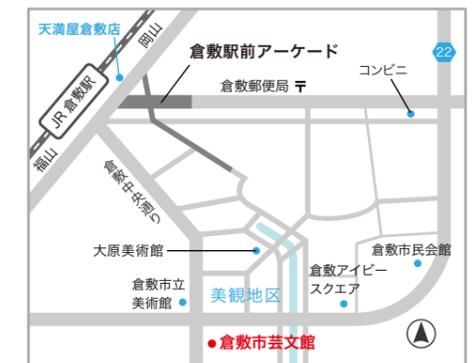


受賞者は講評会で表彰されます。



倉敷フォトミユラルに応募し、選出された作品は商店街に展示されます。

※展示・講評会につきましては、後日ワークショップ参加者に詳しい内容を資料でお送りします。



詳しくはこちらをご覧ください
倉敷フォトミユラルウェブサイト

▶ <https://arsk.jp/photomural/>

